

震災復興リーダー支援プロジェクト

Support our Disaster Recovery Leaders - Relieve, rebuild and re-start Japan

経過報告レポート Vol.2 (2011.6.12-7.11)

1 緊急の被災者支援から中長期の復興支援へ

震災から4ヶ月が経過しました。3/14にスタートした、ETIC「震災復興リーダー支援プロジェクト」は、短期・緊急の被災者支援を継続しつつ、中長期的な復興支援活動にも取り組み始めています。

①緊急・短期:被災者支援
(震災弱者支援のためのコーディネート機能の確立)

②短・中・長期:被災地の復興に向けた事業・プロジェクトに
取り組むリーダーの支援
(リーダーを支える「右腕」となる若手人材を派遣)

③中・長期:新たな震災復興リーダーの育成・輩出
(産業再生・地域再生を担う新たな起業家の支援)

2 地域再生・産業再生への「右腕派遣」本格始動

■ 3年間で50プロジェクトに100名の右腕派遣へ

広域にわたる甚大な被害を受けて、社会起業家をはじめとする多くのリーダーたちが復興に取り組み、被災地において重要な役割を担っています。このような状況で、有能なリーダーのもとには、復興・創造に向けて取り組む価値のある様々な案件やアイデア、支援・連携の申し出が、日々寄せられています。こうした中、多くのプロジェクトでリーダーを支える「右腕」として、中長期(3ヶ月~1年程度)参画可能な有能な若手人材へのニーズがたかまっています。

震災復興リーダー支援プロジェクトでは、「長期間にわたり事業・プロジェクトにフルコミットできる有能な人材の不足」という、復興に向けた大きなボトルネックの解消を目指し、3年間で50プロジェクトに100名の右腕人材を派遣することを目標としています。

現在、「地域再生」「産業復興」「中間支援」のプロジェクトに対し、22名の右腕人材の新規派遣を開始しています。

▼ 派遣先プロジェクトの選定基準

被災地の復興に向け、大きな「レバレッジ効果」が期待できるプロジェクトを中心に選定

- ・他団体・他地域のモデルとなるプロジェクト
- ・特定の地域(旧市町村単位など)のコミュニティ再生に向けて、継続的・戦略的シナリオを持つプロジェクト
- ・産業復興につながり、社会的イノベーションや新たな雇用創出が期待されるプロジェクト など

(1) 右腕派遣の今

「石巻・牡鹿雄勝地区の産業復興プロジェクト」に右腕として参画中の鈴木悠平氏(23歳)は、9月から予定していた米国留学を1年延期しました。今は、宮城県石巻市北東部である牡鹿・雄勝で、漁師や主婦、水産加工業者などが自立に向けて歩みだしているための小規模ビジネスを応援するプロジェクトに携わっています。

石巻の缶詰加工工場で働く人々と、泥にまみれた缶詰をひとつひとつ拾いながら話し、缶詰にける真摯な姿勢に触れ、彼らやその企業そのものに惚れこんでいると言います。

「右腕人材として関わる以上、それまで何度か活動していたボランティアとは違う。自分なりの価値を出せるよう、現地の人たち一人一人をきちんと見ながら丁寧に動きたい。」と話してくれました。



写真左は石巻の様子。鈴木氏は、現場に入り込んで当事者として復興に携わり始めている。

IT企業を退社したばかりの丸山盛嗣氏(27歳)は、被災地のニーズ分析を行うRCF災害支援チームの活動に右腕人材として参画しています。これまでの仕事でもリサーチや分析を得意としていた丸山氏は、その強みを最大限に生かし情報の波を整理し、リサーチ、アセスメント、次への提言と横断的に活躍しています。チームが取り組んだアセスメントデータやレポートは、TV番組でも基礎データとして活用されるなど、社会的に大きな影響をもたらしつつあります。

「これからはもっと踏み込んで、事業計画の策定支援や提言活動を中心に展開したい」と話す丸山氏。

この取り組みは、被災地ではない東京だからこそできる後方支援、航海のコンパスの役割となる仕事です。氾濫する情報と現場で活躍する団体を機能的につなぎ、効果的な震災復興を加速する丸山氏の活躍は、まだ始まったばかりです。



日々リサーチに没頭する丸山氏は、「僕たちの未来なんだから、大人任せにしないように、若い人たちには特に関わってほしい」と話す。

(2) キックオフフォーラム＆マッチングフェア開催

去る7月6日(水)、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、震災復興リーダー支援プロジェクトのキックオフフォーラム&右腕派遣マッチングフェアを開催しました。143名(内訳:学生37名、社会人・その他106名)が参加、13名の右腕募集しているプロジェクトリーダーとともに、とても熱気溢れる場となりました。

冒頭に、NPO法人ETIC.ディレクターの山内より、当プロジェクトの目的と概要についてプレゼンテーションさせていただいた後、現地のリーダーである、(株)ファミリアの島田氏、(社)Sweet Treat 311の立花氏、(財)地域創造基金みやぎの鈴木氏の3名が登壇、「震災からの復興、新たな東北・日本の創造に向けて」をテーマに、パネルディスカッションを実施しました。3名が語る震災直後の被災地の様子や、今取り組んでいる活動内容やそれに向けた想いを参加者は熱心に聞き入っていました。



私自身も名取市在住。波に人が巻き込まれていく様子を目の当たりにした。震災2日目からマルシェのネットワークをもとに、避難所での炊き出しをしていた。活動中に「働いてないと狂っちゃいそう」という言葉を聞いて、早急に被災地に仕事を創らねばと思って、「東北ROKUプロジェクト」を急ピッチで準備している。(株)ファミリア 島田氏

20年間商社で勤めた後、独立した。地震後すぐに地元である宮城に戻った。仙台の街中は全く異常なく、何がおきたのか正直わからなかった。結局、避難所をまわって仲間が無事を確認できた。これからは地域自立型、ネットワークの時代が来るのではないかと。牡蠣やホタテの養殖業者とともに加工食品のプランディングをおこなうことで、地域自立型ビジネスを展開したいと考えている。

(社)Sweet Treat311 立花氏



3月末までアメリカ系の財団の事務局で仕事をしていた。何らかの形で震災復興に関わる仕事をしたいと考えていたところ、縁あって誘われ、今がある。経済の復興は必要だが、どのようにお金を使えばいいか悩んでいるところに対してどうサポートするか、寄付者とお金を必要としている人たちの間にどう橋をかけられるかを考えている。

(財)地域創造基金みやぎ 鈴木氏

続けて、右腕人材を募集しているプロジェクトリーダー13名によるプレゼンテーションでは活動紹介のほか、求める右腕の人物像などもお話いただきました。後半のブース交流会では、どのブースにもたくさんの方であふれ、派遣や連携を希望する人たちとリーダーの間で活発なやりとりがなされていました。



▼ 派遣先プロジェクト例

- コミュニティバス運行プロジェクト/ぐるぐる応援団
- 都市からのボランティアを地域とつなぐ/ふらっとーほくプロジェクト
- 仮設住宅で生活する子どもたちの教育支援/NPOアスイク
- 生産者と企業をつなぐ食品業界復興支援/東の食の会
- 東北に新しい産業再生モデルをつくる/東北Rokuプロジェクト
- 訪問看護ステーション立ち上げプロジェクト/ケアプロ(株)
- カキ・ホタテ養殖復興プロジェクト/(社)Sweet Treat311
- 変化を生み出すお金の仕組みづくり/財地域創造基金みやぎ

(3) 復興と暮らしを支える仕事と人のストーリー『みちのく仕事』WEBサイトがオープン

被災地で立ち上がっている復興プロジェクトを紹介している他、現地リーダーや派遣されている右腕の人たちの復興にかける熱い思いをインタビューとして伝えるWEBサイト『みちのく仕事』がオープンしました。東北の復興と暮らしを支える人たちのあるがままを届ける情報サイトとして、現地のニーズや右腕の求人募集情報が更新されます。



『みちのく仕事』

<http://michinokushigoto.jp/>

(サイト運営:NPO法人ETIC./株式会社シゴトヒト)

Twitterアカウント: @michinoku_sgt

Facebookページ:

<http://www.facebook.com/michinokushigoto>

復興と暮らしを支える仕事と人のストーリー

みちのく仕事

MICHINOKU-SHIGOTO

About インタビュー 右腕求人情報 現地からの募集 メンバー お問い合わせ

—インタビュー—



42万円の泥だけの缶詰を1つづひろう。

宮城県石巻市東部に位置する社屋や店舗を拠点として、漁師さんや主婦の方、半農加工業者などが自立に向けて学びたいというより小規模ビジネス形態で、いかにプロジェクトがある。今回は、その復興復興プロジェクトのリーダーである宮城第一さんのインタビューとして、現地で活動する右腕の皆さんに話を伺った。(ETIC./山内辰巳氏)



3 ご支援・ご寄付等の状況報告

ETIC.では本プロジェクトの推進にあたり、信頼資本財団と共同で「震災復興リーダー支援基金」を立ち上げ、皆様からのご寄付を募っています。現在、国内外の皆様より、総額65,241,000円のご寄付をいただいております。現在、国内外の皆様より、総額65,241,000円のご寄付をいただいております。現在、国内外の皆様より、総額65,241,000円のご寄付をいただいております。現在、国内外の皆様より、総額65,241,000円のご寄付をいただいております。

7月11日時点での派遣者数は22名、宮城県内および東京都内で各プロジェクトの右腕として活動を続けています。また、17件のプロジェクトで新たな右腕スタッフを募集しており、順次マッチングを行い、7月下旬~8月下旬の派遣予定しています。

また、本プロジェクトでは、3年間で100名の右腕スタッフへの支援をするために、2014年3月末までに331,000千円の予算を計画しています。

信頼資本財団

<http://www.shinrai.or.jp/fukkou-shien/>

連絡先・お問い合わせ先

◆NPO法人ETIC.内

震災復興リーダー支援プロジェクト 事務局(担当:山内・辰巳)
東京都渋谷区神南1-5-7 APPLE OHMIビル4階

mail: fukkou@etic.or.jp

Web: <http://www.etic.or.jp/recoveryleaders/index.html>